



文部科学省

[文教施設企画・防災部パンフレット]



http://www.mext.go.jp/b_menu/saiyou/sisetu/detail/1401639.htm

[お問合せ先]

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
施設企画課総務係

電話 03-5253-4111 (内線2523)

メール sisetu-somu@mext.go.jp

国家公務員採用試験については、人事院又は文部科学省HPをご覧ください。



文部科学省

施設系職員 業務案内

「建築」を通じて、日本の
“教育、科学技術・学術、
スポーツ、文化”
を支える！

未来をささえる文教施設

誰もが通う、**学校**。
身近で、大切な思い出の一つです。

学校をはじめとする文教施設は、人の暮らしを豊かにし、健康で文化的な生涯をすごすための大切な場です。また、独創的・先端的な学術研究においての知の基盤や、地域コミュニティの活動拠点ともなる、様々な役割を担っています。

日本の未来を担う子どもたち、さらには国民一人一人が、それぞれの夢をはぐくみ、安心して暮らせる豊かな未来をつくること。それが、わたしたち**文教施設企画・防災部**の仕事です。

学びを
ささえる

多様な学習形態に応じた施設環境の構築

- ・学校施設整備のガイドラインの策定
- ・エコスクールの推進
- ・学校施設の木材活用

安全を
ささえる

安全・安心な学校施設の整備

- ・老朽化対策
- ・災害復旧の支援
- ・耐震化の推進
- ・維持管理の徹底

知を
ささえる

人材育成やイノベーション創出を支える 国立大学における教育研究基盤の整備

- ・国立大学施設のグランドデザイン
- ・最先端研究の拠点整備
- ・人材育成の拠点整備
- ・国立大学附属病院の施設整備

地域を
ささえる

地域コミュニティを支える拠点としての整備

- ・防災拠点としての機能強化
- ・学校施設の複合化
- ・バリアフリー化の推進
- ・廃校施設・余裕教室の活用

社会を
ささえる

国家プロジェクトへの技術的支援

- ・文教施設づくりへの技術的支援
(国立新美術館、平城宮跡、ナショナルトレーニングセンター等)
- ・文教施設の品質確保(技術的基準、工事契約に必要な基準)

総合職のキャリアパスのイメージ

教育・科学技術・文化・スポーツと幅広い文部科学行政に精通しながら、建築の専門性を持ったジェネラリストとして、文教施設企画・防災部のほか、省内の各部局や他省庁、教育委員会や国立大学、大使館勤務など、国内外で活躍できます。

参事官(施設防災担当)付 企画係長
五十嵐 俊祐 (H28 国家公務員総合職) (機械)

志望理由 学生時代から、工学部で勉強しながら塾講師のアルバイトや教育実習を行い、教育の中で工学部で得た知識を活用したい、と考え文部科学省を志望しました。
これまでの業務内容 文教施設における機械工事の設計積算業務の他に、技術支援や技術的基準の作成に従事しました。その後、文教施設企画・防災部の業務全体の企画・調整や、学校施設に関する施策の司令塔として交渉やタスクマネジメントに従事しました。現在は災害時における文部科学省としての初動対応、総合調整に従事しています。

男の産休制度も使っています 私達の職場は、仕事に使命感を持ちながらも個人の時間も大切にしている職場です。男の産休制度を使って子供と向き合えたり、休暇の相談に気軽に乗ってくれたり風通しのいい職場です。

リフレッシュの為に
地元のコキアと一緒に

総合職
4年目

計画課 整備計画室 室長補佐
小林 和弘 (H19 国家公務員I種) (建築)

志望理由 オープンスペースなど新しい学びの空間や、公民館や図書館といった地域のコミュニティとしての機能を複合化させるなど、学校施設の持っている可能性をもっと活かさないかと思ったのが志望のきっかけです。

これまでの業務内容 施設部では、耐震化の推進、学校施設整備指針の策定、国立大学のキャンパス整備などを担当してきました。その間に国土交通省や内閣府に出向する機会があり、建築基準法の改正や沖縄振興にも携わることができました。

メッセージ 将来を予測することが困難な時代を迎えている今、皆さんのような若い方の柔軟な発想が国の政策にも求められているのかもしれない。そういった新しい風を吹かせてくれる皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

オフのときは
趣味のサイクリングを楽しむ

総合職
13年目

係員

係長級

幅広く実務を経験

課長補佐級

担当業務の企画・立案

幹部職員

他省庁、国立大学、教育委員会、海外の大使館等への出向

一般職のキャリアパスのイメージ

学校建築など文教施設行政に精通したスペシャリストとして、文部科学省文教施設企画・防災部を中心に省内の施設関係部局や、全国の国立大学等で建築の専門職として現場も経験しながら、幅広く実務を経験し、行政職として活躍できます。

施設助成課 技術係員
勝又 真理子 (H28 国家公務員一般職) (建築)

志望理由 日本の未来をつくる仕事がしたいと思い、文部科学省の施設部を志望しました。

これまでの業務内容 施設部では、文教施設の建築、整備、維持管理など幅広い分野での仕事に携わりました。

また、文教施設づくりへの技術的支援として、オリンピックパラリンピック選手用のトレーニングセンターを始めとした様々な施設整備に関わりました。現在は、全国の公立学校施設整備において、技術的な面からサポートを行っています。

建築の専門性を活かす 文部科学省で建築という専門性を生かす仕事は少ないと思われがちですが、実際は活躍できる場はとて多く、またやりがいもあります。これからの日本をつくる大きな仕事を一緒に進めていきましょう。

一般職
4年目

係員

施設企画課 環境施設企画係長
田中 郁子 (H15 国家公務員II種) (建築)

志望理由 既存ストックの保存・再生に興味があり、第二次ベビーブーム期につくられた多くのストックを抱えている学校施設について、少子化が進む中で新たな方策を考えられないかと思い、志望しました。

これまでの業務内容 耐震化をはじめ学校施設整備のガイドラインに関する業務では、国の方針を示すべく大きな視野で携わりました。また、公立学校の財政支援や出向先の国立高等専門学校機構での業務を通じて、地域や学校の実情を身近に感じながら取り組んできました。国立大学の教育や運営に関する業務では、ソフト面を踏まえたハードの在り方について意識する機会となりました。

素敵な仲間にも恵まれた職場 私の職場は、お互いを助け合いながら、同じ目標に向かって一緒に進む素敵な仲間にも恵まれた環境だと思っています。「全ては子供たちのために」を合言葉に、一緒に働きましょう。

一般職
17年目

係長級

幅広く実務を経験

課長補佐級

担当業務の企画・立案

幹部職員

他省庁、国立大学等への出向

※キャリアパスのイメージは、基本的な例であり、本人の適正・希望等により変わります。